

年間120日の休日は休ませろ！ 休日は社員が休養するためのものだ！

本部は4月17日、平成25年度要員計画について及び非現業部門における業務運営体制の見直しについて業務委員会を開催しました。

年度初におけるシステム化・省力化で△244名の要員が生み出され、中央新幹線に関わる業務、東海道新幹線大規模改修に関わる業務その他に充当していくことが明らかになりました。また駅異動計画数は約110人であることも明らかになりました（詳細は『業務速報No.862号』を参照して下さい）。

休日出勤について会社は「平成24年度実績は想定の範囲内に収まった」とし、平成25年度は新幹線運輸職場で一人1～2泊程度、在来線運輸職場は区によってばらつきがあるが一人1～2泊程度を見込んでいることを明らかにしました。また「最大限の乗務員養成をしてきた。結果、休日出勤は年間6泊から1～2泊程度にまで減らしてきた。今後も最大限乗務員養成を行っていく」と休日出勤を減らしてきた努力を強調しましたが、一方で「休日出勤は削減していくがゼロになるということはない」と休日出勤に関するスタンスを改めて明らかにしました。

会社は「ピーク時に合わせた要員配置はしない。非効率だ」と主張しますが、それでは休日出勤は永久に無くなりません。「休日出勤を解消する」というスタンスは投げ捨てられたのです。休日出勤が発生するという事は、今年度も120日の休日を休日として休めないということを意味します。休日は社員が休養し、家族と過ごして心と体をリフレッシュさせるため、また安全・安定輸送のために必要なものです。

本部は「要員配置は休日出勤を前提にしている」「休日出勤の解消と年休完全消化できる要員を配置せよ」と強く主張しました。

要員増を勝ち取るために職場から声を上げよう！

**休日出勤の解消、年休完全消化
のため、要員をもっと増やせ！**